027
243
1

蓬山

027
24.3
1

愛知女專
第11541
圖書

蓬

此時松与栢不及道傍花ゝ邵康
節ゝ詩ゝ酒ゝ杯の屠金樽緑酒
に太白の醉を誘ふ大和尚ゝ
ゝ醒ゝ醒ゝ花の傍道
とふゝゝ獨ゝ行ゝ
東台寛永寺の堂宇伽藍ゝ
酒ゝ杯ゝ憩ひ居ゝ

花のあるしに阿堵を惜まぬ隠されと
ら法師が花に絆ぬ門生民峨人を
御に粘しきよむしきを揮ひ
法とふむなき里にすまゐの
なきけ添し

黙青峨

吟うふ花を倒さ行る花の山　和千

花の雲けまねれて戻りけり　双峨

けんまことちる中し花乃山　可容

東叡山裡吟

花さうしこの詠乃雲隠　百菴

田しらぬ

寺須ば月をあさるもれの花の山　青峨

宴尺　五十羊尺　把山　青都　湖雲　春峨

文彩　沾洲　貫此　探香　故一　百峨

花摘へ一服もとめ[illegible]　　茶室

[illegible]

花峯や見をはらひの木枝　　米仲

盲人も行儒ふ居る所花ゝの卯　　青瑣

琴の音や[illegible]花の[illegible]　　木昌

行人の見ぬ[illegible]花の山　　百水

石剛も[illegible]の[illegible]菜蓮　　梅素

天も花ふ酔[illegible]

[illegible]

惜むものを先ふ[illegible]花切る　　柯木

[illegible]花の[illegible]　　弐池

[illegible]の時[illegible]僧や花の宿　　百巣

納め[illegible]の小[illegible]　　斗南

[illegible]の[illegible]花の[illegible]　　畔水

花わびて咲るやこゝ北車道　巨淵

武士の花ちるさくや春の城　渡柳

〜〜霞のきれいさの朝ぼらけ　安里

さくらかくれ小せきもあん花ち敷　存義

花の山ちりさくやこゝ長　四友

ちる花ふ揚方のひよ咲ちり　泰國

かの花磨ふ咲られ花さくら　越波

清さ〜蓮の咲いさち花盛　玄水

咲花の咲〜〜〜〜られ孫ゆや　万宇

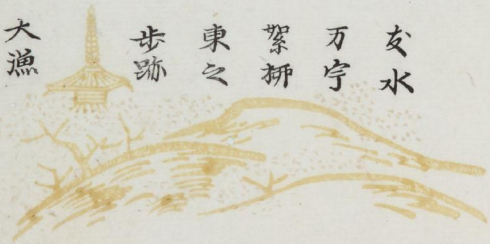
蓮かさ〜清さ〜ゆ〜〜〜〜花いさ　絮柳

四沙園や〜さい一大万〜ふの幕　東々

お幕の花の咲ふ〜や　眉車　歩跡

[illegible]

蝶舞〜〜花ふひ〜花のひとり清　大漁



山さと花の心　惠風
撞撞ゆう鐘はさくも敷るごとん　珪琳
いく度花の枝のもとにかくれ　烏々
花の枝横ゝ　なきぬれかすう　豊居
むさうう鶯ハ花守へあたけ花　柳江
吸ふ音をまくゝみ花ちるゝ邨　永義
吹けゝ花の数を見てん山さくら　其爾

花の日のくれなゐてゆくるる
商人のくんくふしくるくるう　丹告
花賣の花をたるくるる山辺うる　照仙
徐師達の金を入るるむ　湖十
咲くるるれ月をん雨多る　東蝶
すくをを武まるるるるる　簾雨
鬼板に鶴のくくるれる　琴柄
　　羅千

敬由

左十

文々

金尹

李喬

義ゝ

泰鳴

文尹

南子

五沾

太峨

銀鈎

所文

出ぬ人乃こゝろ深さも花乃春　玉虹

花とゝふ文字さま都乃さくらび　虬十

小ぶ女の指さしゝも花乃も今　玉菊

咲田ゝも解ぬまゝも花の雪　治賀

歌仙

吸角ゆさゝふ蔦の紅葉人　民峨

蝶ゝ花ゝの袋稽乃　千道　米仲

駱の巣乃大坂面ふ居ゝ　青峨

小稽ゝの子乃りゝ小ゝ面き　故一

面ゝ駱人ゝ稽ふ蔦ゝ月　米

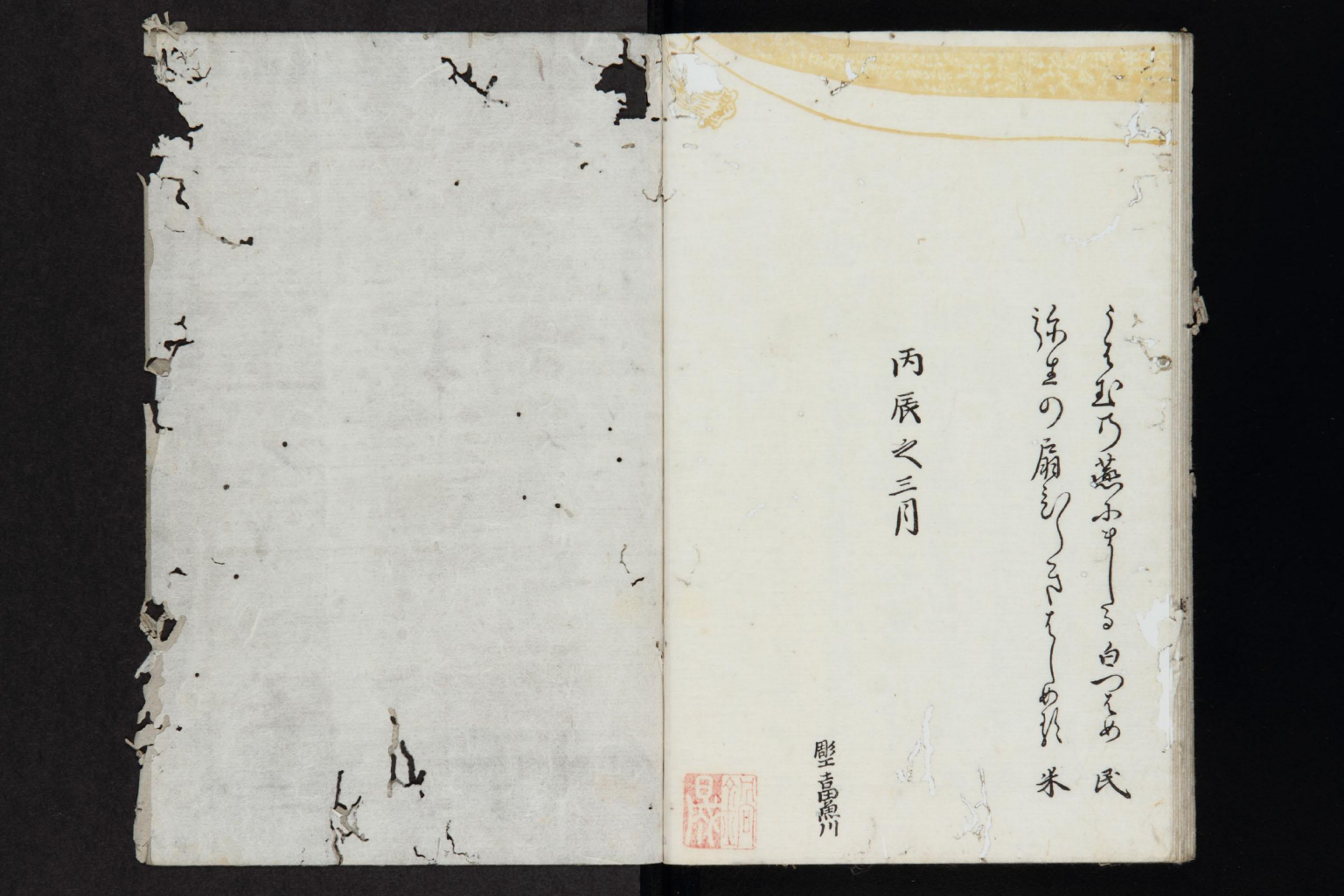
小ゝ稽ゝ駱のゝ風　青

[illegible] 故
けい [illegible] 流れい 民
[illegible] 青
黄 [illegible] 種 の風 米
道 [illegible] 民
十 [illegible] 故
亦 米 [illegible] 米

[illegible] 秋の味 青
切 [illegible] 落の花 猪口山 故
湯 [illegible] 月 民
青 [illegible] 青
傘 [illegible] 米
暮 [illegible] 民
灯 [illegible] 故

[illegible] 米
[illegible] 青
[illegible] 故
[illegible] 民
[illegible] 青
[illegible] 米
[illegible] 民

書礼[illegible] 故
三[illegible]四月の朝の月 米
葉[illegible] 青
山い雪[illegible]む鞠目[illegible] 故
人[illegible]も鼻をぬき 民
長[illegible]都[illegible] 青
[illegible]の餅[illegible] 故



丙辰之三月

壓高熹川